

## H23 午後 2 問題 2 を評価して

2013/2/27

by koyano

**B+** の評価とさせていただきます。

総評 1. と 2. は非常に分かりやすくなりました。細かい点では幾つかありますが、合否に影響を与えるものではありません。しかし以下の表の条件 3 の 1)2)3) B は修正する必要があります。市販の対策本やネットで他の方の同問論文に当たり、問題個所の表現を比較・検討されるのも勉強になります。

また本論文をひな型とし、スケジュールリカバリ、予算要求 等の変化に対応できるように訓練することを勧めます。例えば、現在の一括請負型を自社内プロジェクトに変更すると、予算制約問題、人材選定などが書きやすくなります。

条件 1	最低限の記述スタイルが守られている	A 特に問題ありません。
条件 2	1) 字数制限が守られている	A
	2) 読みやすい丁寧な字で記述されている	PC 入力のため不明
条件 3	1) 設問で問われている構成になっている	B 設問ウの 3. の表題には「制約」の表現を入れるべきです。
	2) 問題文で問われている内容になっている	B 計画フェーズと実行フェーズが明確でない表現があります。
	3) 設問で問われている解答になっている	B 設問ウの「制約」に関して触れられていません。1)に連動
	4) 意思決定のプロセスが記述されている	A 良く書けています。
条件 4	1) 試験区分の内容になっている	A 十分です。
条件 5	1) 結論から先に書かれているので分かりやすい	A 1. と 2. は分かりやすい。
	2) 理由が記述されているので分かりやすい	A 1. と 2. は分かりやすい。
	3) 具体例が記述されているので分かりやすい	A 箇条書きは[具体的に述べよ]の一例で良い表現方法です。
条件 6	1) 最低字数制限の 1.2 倍程度は記述されている	A 十分です。
	2) 各段落の記述量が適切である	A 十分です。
条件 7	十分な知識が記述されている	B PMBOK 用語、PM 専門用語も 3 つ程度有ると良いが。
条件 8	定量的表現がされている	A 良い。品質判定基準の提示など

添付の PDF を参考にしてください。条件 1~4 をクリアすることです。条件 3 は重要です。

- 先ず、

**H23 午後 2 問題 2**は、品質マネジメントの問題というよりも、品質に関するリスクマネジメントの問題と考えた方が扱いやすくなります。

1 品質目標があり、2 それを実現するにはリスクがあるので特定し、3 リスク分析・影響度を調査し、4 リスク対応策(と工夫)を策定する。この 1 の定義フェーズと 2~4 の計画フェーズを問うています。

定義フェーズ→計画フェーズ→実行フェーズ→終結フェーズがプロジェクト・ライフサイクルで、その前段部分です。

実行フェーズでも当然 PDCA のサイクルは廻します。その時の P は計画プロセスといい、計画フェーズではありません。この問題は、計画フェーズを問うています。

「品質確保策と工夫」を品質マネジメント計画書に記述すると捉えて下さい。

さて、本論文では、前回よりも改善はされたものの、実行フェーズの PD・・・が見え隠れします。

- 3 ページ 17 行目、「・・・配置した。」

→これは実行表現ですが、ここは品質確保策を策定中の調査行動と読み取れるので、十分許容範囲内です。そして最後に「仕様確認会の開催を要請する方針とした。」としているので、品質確保策を策定したことが明らかで、良い締めくくりです。

- 4 ページ 2 行目、「3.1 品質確保策における工夫」

→表題の下で論述しているので、論点がズレています。

表題には、(予算や)納期の制約を考慮した工夫とアンダーライン部分を入れるべきです。

設問は「品質確保策の作成において、予算や納期の制約を考慮して、どのような工夫をしたか。」で、これはどう読んでも「品質確保策の作成時(=計画フェーズ)に、制約を考慮した工夫」について問われています。

論文内容を読むと、

- ・ 1 点目の・では、どの制約(予算や納期)にも関わらない要件定義の内容です。要件定義が失敗すれば、最終的には納期遅れになるのですが、この表現では遠まわしです。
- ・ 2 点目の・では、どの制約(予算や納期)にも関わらない品質評価の内容です。品質評価で NG が出れば、最終的には納期遅れになるのですが、この表現も遠まわしです。
- ・ 3 点目の・で、やっと納期制約が現れました。

また、各・でも、実行フェーズの表現になっています。もし「制約を考慮した工夫を策定中の調査行動」なら、表現をそのように強くすることです。そして最後に「～をすることとした。」とすると、良い締めくくりになります。

また、

「確認会に参加できるように調整した。」を例えば

→「確認会に参加できるように調整することとした。」

「サンプリング率を決めてピックアップした仕様書を確認した。」を例えば

→「サンプリング率を決めてピックアップした仕様書を確認することとした。」

などです。

- 4 ページ 20 行目、「3.2 品質確保策の結果と評価」

→ここは、実行結果の評価を述べます。特に最後には、品質目標を確保できたことを言い添えること。例えば、

「工夫の結果、制約条件(予算や納期)のクリアと品質確保策の実施で、当初の品質目標を達成できたと評価している。」と言い切ることが必要です。

- 良い点

1 ページ 9～12 行目、

→「画面や帳票に統一感を持たせる」品質目標の設定の背景が良く分かります。

1 ページ 30～32 行目、

→品質目標と判定を定量的に表しており、非常によいです。

3 ページ 9～13 行目、

「時間を確保してもらおうよう彼らの上長に正式に依頼した。また、私はこれだけでは要件定義漏れや業務理解不足を補えないと考えた。そこで、M社の利用部門にプロトタイプによる確認会の実施についての承認を得ることにした。」

→関係者への事前の調整とか承認といった行動で、PMの活躍がうまく記述されています。

- 更に良くなる

1 ページ 18 行目、「当プロジェクトの特徴として、以下2点が挙げられる。」

→3.1&3.2で制約を考慮した工夫を述べるので、伏線として以下を3点目に述べたらいかがでしょう。(前2行程圧縮必要) 例として、

・M社プロジェクトオーナーから xx 月の創立 50 周年記念に向け本システム納期の順守を要請されている。

以上